



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第98号(2012年3月31日)



【カタールからフランスへの投資が増加】

最近カタールからフランスへの投資が活発になっています。パリの名門サッカークラブであるパリ・サンジェルマンFCはカタールの政府系ファンドに買収されました。ハンドバッグ・メーカーのLe Tanneur & Cieもカタールに買収されています。建設会社Vinci SAの株式も5%以上保有していることです。

そんな中で、今月はカタールの政府系ファンドがフランスの石油会社Totalの株式を約2%保有していることが分かりました。これは数ヶ月かけて市場で買い付けられていったものであり、買い付け時、あるいはその後もカタールからTotalの経営陣への接触はないとされています。

Totalの株式は去年の夏の安値から大幅に株価が回復しており、カタールの投資は今のところ大きなリターンをあげていると推察されます。

今回の投資によってカタールはTotalの大株主のひとつとなりましたが、消息筋の話では純投資とされています。

最近Forbesに掲載されたリストによれば、カタールは原油価格の回復や天然ガスの埋蔵量に助けられ、一人あたりの富という観点で世界一に輝きました。この豊かな資金力の行方は今後も注目されそうです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイが富裕層にとっての重要な拠点に】

居住用不動産、商業用不動産を手がけるKnight FrankとCitiのプライベートバンクによる調査によれば、ドバイは富裕層にとって重要な都市として地位が急速に上昇しています。同調査によれば、世界の富裕層にとっての重要性の上昇という観点でドバイは8位になりました。なお、トップ是北京でした。また、現在の重要性ではロンドンがトップでニューヨーク、香港が続き、ドバイは13位でした。今回の調査は富のアジアへのシフトをも示しており、1億ドル以上の資産を持つ富裕層については、中国、東南アジア、日本を含む地域には今や北米あるいは欧州よりも多くの富裕層がいるとのこと

【アブダビの太陽発電プラント】

アブダビの太陽発電プラントのShams 1が年内にも完成し、アブダビに電力を供給できるようになります。建設は2010年に始まり、費用は6億ドルとされています。約100MWの電力を供給できるようで、Shams Power CompanyのAL Ali氏によれば、完成した際には世界でも最大級の太陽発電プロジェクトになるとのことです。尚、このShams 1は複数の企業による合弁事業で、前のページで取り上げましたTotal社も20%出資しています。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【GCC諸国の企業業績は好調】

Global Investment Houseによる調査によれば、GCC諸国の上場企業の純利益の合計額は2011年は29.8%増加して522億ドルになることがわかりました。クウェート、オマーンを除くとGCC諸国はそれぞれ利益が伸びているとのことです。

セクター別では銀行、工業が、国別ではバーレーンが特に好調とのことです。

【ドバイ国際ボートショー】

合計で430隻にも及ぶボート、ヨットがドバイの今年で20回目の国際ボートショーで展示されています。これらのボート、ヨットは総額2億6千万ドルの価値があると推定されています。

ドバイ国際ボートショーはこの手のイベントとしては中東最大のもので、今回はオーストリア、キプロス、エジプト、香港、マダガスカル、ポーランド、チュニジアといった国、地域から初の展示がありました。

世界経済の回復の鈍さにも拘らず、巨額の取引が行われるだろうと開催者側は予測しています。

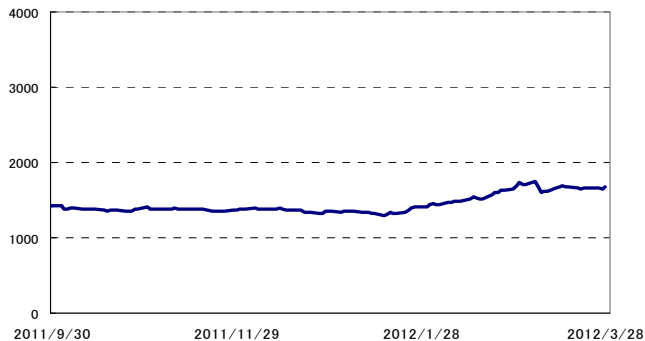


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

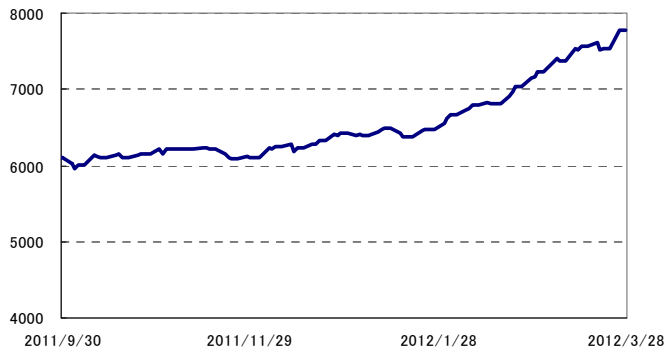


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移 (各市場の直近6ヶ月)

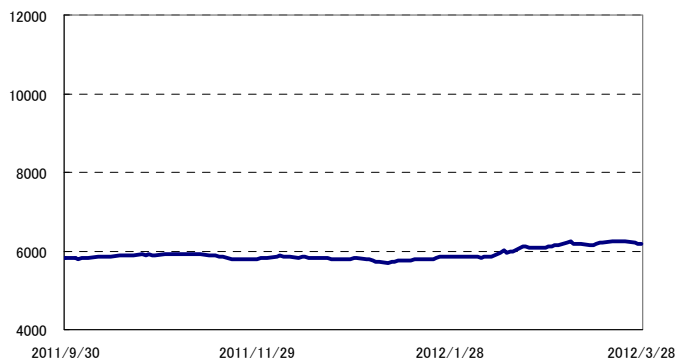
ドバイ金融市場総合指数



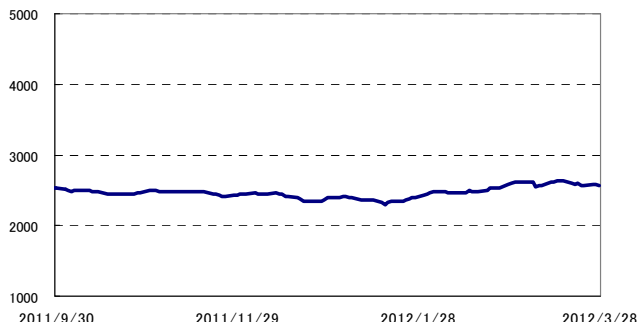
サウジアラビア タダウル全株指数



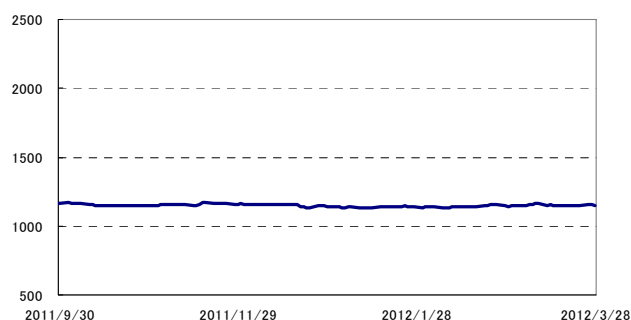
クウェート証券取引所指数



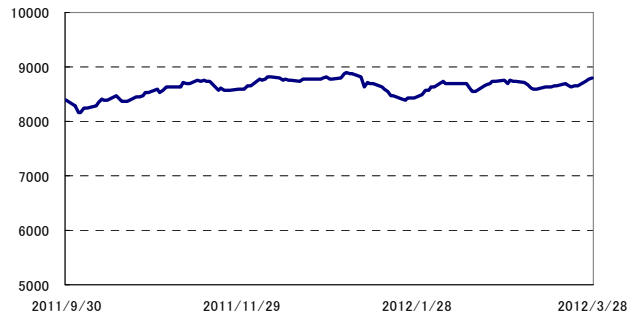
アブダビ証券取引所株価指数



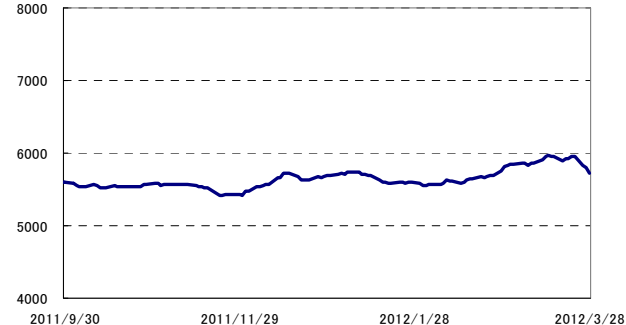
バーレーン全株指数



カタール DSM指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。